



本会議において 一般質問を行いました クルーズ客船誘致について

■質問/外海開三
「都心商業地でのおもてなし環境整備事業」の一環として大型客船入港時に行われている、三宮周辺商業地でのコンシェルジュ配置や、ターミナルと市街地をつなぐ無料シャトルバスの便数などが十分ではありません。ソフト面の充実や、分かりやすいデザインに統一した多言語公共サインの整備が重要と考えます。
今後ますますの乗船客の増加が見込まれる中、海外からの観光客が快適に滞在できるようニーズをどのように把握し、どのような方針で受け入れ体制を整備していくのか。

■答弁/久元市長
街の案内サインについては、来年度からはデザインの観点からのバランスも考えながら国際都市神戸に相応しい統一された多言語表記になるようにしていきたいと考える。
おもてなし事業は更なる充実のためにコンシェルジュの増員や無料シャトルバスの運行数増加等を行い、一層の工夫をしてまいりたいと考える。

■要望/外海開三
今以上のにぎわい創出によって、「人・もの・金」が集まる港となるよう中期目標である年間入港隻数150隻の達成を要望いたします。

神戸ビエンナーレについて

■質問/外海開三
震災10年を機に「神戸文化創生都市宣言」を経て誕生した、2年に1度の芸術文化の祭典「神戸ビエンナーレ」ですが、震災20年を迎え節目となった第5回「神戸ビエンナーレ」が11月23日に66日間の会期をもって閉幕いたしました。今回のビエンナーレは、過去最高となる38万人が訪れたとのことですが、これまでの総括と今後の展開について、見解をお伺いいたします。

■答弁/玉田副市長
メリケンパーク会場においては、これまでテナだったのを今回は大型テントの広いスペースで参加型・体験型の作品が多く展示できたことから幅広い世代の来場者が楽しんでいただけたのではないかと思います。
また「神戸ビエンナーレCheers」という方たちによるガイドツアーやワークショップも非常に好評であった。このような新しい取り組みを行った結果、前回の来場者を上回る38万人の方に来場いただいた。市民が身近にアートを感じる機会を提供できたのではないかと考える。

地域発のアートプロジェクトそして他都市でのビエンナーレ・トリエンナーレなどが開催されており、市民が芸術に触れる機会も増えているので、芸術祭に対するニーズも色々多様化していると思う。このような現状も踏まえて市民や議会の意見をいただき他都市の芸術祭の状況をよく把握したうえで次回の在り方について議論していきたい。



■要望/外海開三
次回第6回「神戸ビエンナーレ」が開催されるのであれば、神戸港開港150年を迎える2017年です。港事業と芸術文化を対外的に知って頂き、また多くの方々に神戸へ来て頂く大きなチャンスでありますので、港事業とコラボした神戸らしい芸術祭となるよう検討の方よろしくお願い致します。



決算特別委員会において 質問いたしました

※紙面の都合上、外海開三の質問項目のみ掲載いたします。

交通局 平成27年10月1日

1 利用者に配慮したバス停・バスターミナルの整備について
市内の停留所を見るとまだまだベンチ・上屋が設置されてない所が多いと感じる。今後の整備計画内容について。

2 需要に応じたダイヤの見直しについて
平成26年度の路線別営業収支を見ると、80路線中、赤字路線が58路線にもものぼる。収支改善に取り組まなければならない。利用者ニーズにあった路線・ダイヤ設定になっていないのでは。

3 バス運転士の職業意識の向上について
出庫前点呼の検査でアルコールが検出され、乗務禁止となり、減給処分を受けた職員がいたと聞いた。再発防止策は。

4 イオンモールとの連携による海岸線の乗客増対策について
中央卸売市場本場の西側跡地にイオンモールができる。海岸線の利用者の増加を達成するために、どのような連携をしていくつもりか。

5 地下鉄職員の給与について
地下鉄事業が役所でなければできない理屈はないと思う。官民格差の是正、適正な給与水準にするために、どのように取り組んでいけるのか。

6 交通局職員の通勤認定について
多少遠くても、市バス・市営地下鉄を利用できるよう認定基準を見直せば、これまで民間他社に渡っていた定期運賃が高速・自動車事業会計の収入に入り、少しでも収支改善が図れると思う。

建設局 平成27年10月6日

1 不適切な事務処理及び再発防止策について
「建設局職員の公文書偽造」がどういう方法で行われたのか、詳細について説明を。再発防止はどのように考え、どう対応しているのか。

2 自転車利用環境の整備について
①阪神石屋川駅の放置禁止区域の指定について
阪神石屋川駅前近辺の放置自転車対策については、現状をどのように把握し、今後どのようにしていくのか。
②こうべリンクルについて
都心部の自転車利用に関する新たな取り組みとして強い関心をもって見ています。事業の目的や利用状況、採算性について。

3 ハザードマップの市民への周知について
自宅や地域の危険性について知らない市民(特に高齢者の中で)が、多いと感じております。さらに周知を進めていくための方策について。

神戸維新の会 幹事長
神戸市会議員(東灘区選出)
外海開三
インターネットで本会議・委員会の動画配信中
神戸市会

新しい力が未来を開く!!